



●ふたたびサンゴのピンチ？

ーサンゴ食動物の発生ー

海水温もピークを過ぎました。この夏、沖縄の数カ所ではサンゴの白化現象が確認され、慶良間でも心配されましたが、どうやらほぼ被害はなくてすんだようです。けれども、どうも安心してはいられません。というのも、阿嘉島のマジノハマではサンゴがくらすには不都合なことがいくつも起こっているからです。

大きな問題の1つ目は、みなさんの中にも気がついている人が多いと思いますが、大雨の後に海岸の砂を押しつけて、海に泥水が流れ込むことです。その結果、海水は茶色く濁り、やがてサンゴの上などに泥がふりつもることになります。大きなサンゴは、つもった泥を取りはらう力がいくらかあるものの、それにはエネルギーを使いますし、泥のつもった海底には、サンゴのプラヌラ幼生はなかなかくつつくことができませんから、大変大

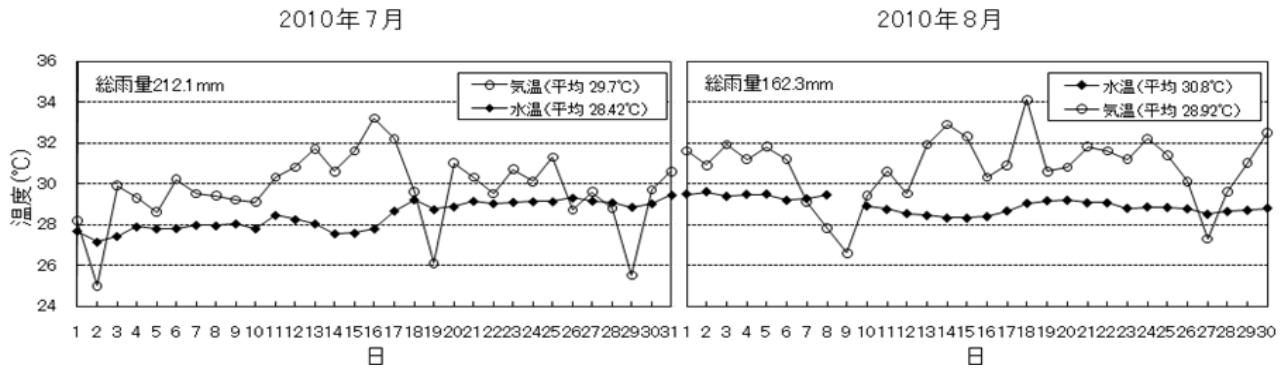
きな問題と言えます。また、海に流れ込む水には、たくさんの養分が含まれています。最近、マジノハマに海藻が多いのは、その多すぎる栄養のせいかもしれません。この夏には、ラン藻やソデガラミなどの海藻がたくさん生えて、サンゴがおおわれてしまいそうでした。

以前のアムスルだより (No. 92) に書きましたが、そうした海藻などをふき飛ばしてくれるのは、強い波です。8月はじめにやってきた台風4号の時には、マジノハマに大きなうねりと波が打ち寄せ、ずいぶんたくさんの海藻がふき飛ばされました。それは良かったのですが、一方では、この時にチヂミウスコモンサンゴやミドリイシの仲間がたくさんこわされ、海底に散らばり、その多くは砂に埋もれてしまいました。このように台風によってこわされることが、マジノハマのサンゴにとっての2つ目の問題です。

‘こわされる’と言えば、夏休みの間、たくさんの方がマジノハマで海水浴をしていましたが、悲しいことに、中にはサンゴの上ののったり、サンゴを蹴ってこわしたりする人もいました。潮位の低いときに起こるこうした人による被害は、3つ目の問題と言えるかもしれません。

そして、4つ目の問題は、サンゴを食べる動物がふえていることです。ついこの間書いたばかり (アムスルだより No. 102) ですが、シロレイシガイダマシやヒメシロレイシガイダマシというサンゴを

定点観測



食べる巻貝が、今もたくさんいます。研究所では、この夏も夜マジノハマにもぐってサンゴの産卵調査をおこないましたが、毎晩これらの巻貝をたくさん捕まえました。毎回数えているわけではありませんが、少ない時でも 28 個体、多い時には 91 個体を見つけました。この夏の間、1500~2000 個体はつかまえただろうと思います。主に平らなコモンサンゴや枝状のミドリイシにいて、多いときには 1 つのサンゴに 10 数個体がとり付いて食べていました。

この巻貝にも困ったものですが、もっと大変なのはオニヒトデが増えていることです。まだサイズは小さく、54 個体で調べた平均直径は 4.9cm、最大でも直径 12.0cm、最小のものは 1.3cm しかありません。けれど、数は少なくありません。毎晩、4~5 個体くらい見つけていて、7 月の終わりには 3 日間で 30 個体以上見ました。この夏全体ではたぶん 200 個体くらいは駆除したでしょう。まだ小さいので、被害はそれほど目立ちませんが、それでも注意深く観察すると食べられた後の白いサンゴの骨がポツリポツリと見わかりますし、このままオニヒトデが大きくなれば、大変なことになるかもしれません。そして、もう一つ心配なのが、オニヒトデがふえているのはマジノハマだけなのか、ということです。もしかしたらほかの場所でもふえているのかもし

れません。そもそもオニヒトデは、夜はおもてに出てきて活動しますが、昼はサンゴの裏などにかくれていますし、その上、今はこんなに小さいのでなかなか目につかないでしょう。もしも、原因不明で一部分が白骨化しているサンゴがたくさんある場所があったら、もしかしたらそれはオニヒトデがいるのかもしれない。ぜひ、注意して観察するようにしてみてください。

ここに書いた問題には、人の手ではどうすることもできないこともあるかもしれません。けれど、なるべくサンゴのくらしを守って、そこで人も豊かに暮らしていきたいものです。

● 阿嘉島の海より

この夏、テレビのニュースや天気予報などでもよく耳にしましたが、今年は例年に比べて台風がとても少なかったです。例年、台風は 20 以上発生しているように思いますが、このアムスルだよりの発行された 9 月 10 日現在でやっと二桁になる^{けた}台風 10 号が発生した程度です。

沖縄は毎年どこかで台風の被害が報告されていますので、台風を待ち望んでいるわけではありませんが、毎年来るべきものが来ないのは、海などの自然環境や生物にも影響がでるのではないかと心配です。とはいえ、これから大きな台風が立て続けに来られるのも困りますが。